

コロボックル学級通信

伊是名中学校
ホラふきHappy101
第16号 8月21日
発行責任者 名嘉嶺恭一

「ブローケン・ウィンドー」心理学用語

これは、とっておきの話。「ブローケン」＝「壊れた」、「ウィンドー」＝「窓」という意味である。割れた窓は**無関心の象徴**。「汚れた街・家」には「犯罪が集まる」という関係があるらしい。

アメリカにこんな話がある。ある街で、若者が将来に夢を持たず、「努力してもどうせ貧乏から抜け出せない。」と悲観していた。夜な夜な酒を飲んで暴れまわり、けんかや破壊、落書きを繰り返す。(＝「自暴自棄」という。)大人たちもそんな彼らを恐れて、「関係ない。」とにらみつけた。

当然のように、街は汚れたが毎夜繰り返される破壊に修復は追いつかず、大人たちも疲れ果てて店はシャッターを閉じる方(閉店)が多くなり、街の楽しみはますます少なくなっていった。

そんなある日、街に一人の神父さんがやってきた。神父さんは街を見て「きれいにしよう。」と考え、毎日毎日掃除を始めた。昼は神父さんがきれいに片付ける。しかし、夜になると若者が散らかし、壊した。何日も何日も続いたある日、神父さんは若者たちに「お金(仕事)をやるから、街を片付ける手伝いを頼んだ。」自分たちで汚して、金をもらって自分たちで片付ける。何だか変だが、働いて金を手に入れた。片付ける大変さを知ったあたりから汚すことに罪悪感を抱くようになり、きれいな街を維持したいと思うようになった。やがて、街は汚れなくなっていく。

きれいになり始めた街には人が集まるようになり、新しい店がオープンし始め、楽しい生活に変わっていった。

人の心理は不思議なもので、とてもきれいな場所には、ごみを落とさない。辺りが散らかっていると平気でポイ捨てしてしまう。

東京ディズニーランドのスタッフさんは、小さなゴミも目ざとく拾ってくれる。世界でもっとも清潔な公園を目指している。それが当たり前となり今では客もゴミをそこそこに捨てなくなっている。世界一きれいな公園になっている。

逆に汚れた場所で生活している人は、あまりにもきれいな場所では、落ち着かず本人も気づかぬうちに足もとからゴミをまき散らしてしまうという。そして、汚れてきたら「ホッ」とするのである。ちょっと怖い心理的現象である。あなたは、どっち?名嘉嶺の机の上は、書類でいっぱいだ。きっと、私は後者の方だと思う。(恥ずかしい) 今一度、自分の足元、机の中、机の上、部屋、庭、カバンの中、ロッカーなどを見直してみよう!

8月26日(水)～27日(木)「実力テスト」実施

	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時
8/26	国語テスト	理科テスト	英語テスト	道徳授業	数学授業	理科授業
8/27	社会テスト	数学テスト	社会授業	体育授業	総合授業	総合授業

※台風の心配がしています。土日は外に出ないようにして台風を過ぎましょう。忘れ物も取りに来ないでね。

